

# 春風の便り

01  
VOL



こんにちは、  
はるたけいしです。  
「人と地域が輝く社会づくり」に、  
青年らしく飄爽と、  
また全力で取り組みます。

## 初めての一般質問

春田の誓いは、「一生懸命に生きる人の暮らしを守るために、経営コンサルタントとして培ってきた知恵を活用し、未来を切り拓く」です。この想いに立って質問をしました。

就任してわずかヶ月ですが、多くの方からの市民相談を得たことで目にした、触れたことをきっかけとして、質問の内容を創ることができました。ありがとうございます。紙面が限られていますので、その一部の要旨を掲載します。

### 指定管理者制度について

新人議員研修で市の主要施設を視察した時に、指定管理者制度(民間企業に管理・運営を委託している)施設で説明を受けた折、どうしても納得できず、その後調査し経費削減の視点で質問しました。

高松市が払っている委託費用は、事業収入が増えても増えなくても一



を盛り込んだ契約を増加させることについての考えは?。

### 【企画財政部長の回答】

現在、指定管理者制度を導入している50施設のうち、駐車場など15施設6団体との協定書がインセンティブを盛り込んだ内容となっている。本市としても、インセンティブを盛り込める事案については、積極的に募集要項に盛り込み、民間事業者の一層の参入を図りたい。

### 幼稚園や保育所に 看護師を派遣する 事業について

生活保護の増大に対する対策として、母子家庭の就労を応援するためにはどうすればいいだろうかと考えていた時に、お母さん達との対話や、保育士さんとの対話の模様を思い起こしながら質問をしました。

### 【質問】

ちよつとした熱でも、子供を連れ

て帰ってくださいと、すぐに呼び出され、仕事を急遽休まなくてはならないことが多くあり、仕事と子育ての両立が困難であるとの声が多くある。同時に、保育所側では、なかなか御父兄が迎えに来てくれなくて困っているとの声もある。

### 【市長の回答】

現在、市内4力所の医療機関等において病児・病後児保育を実施している。子供が保育中に軽度の体調不良となり、保護者が勤務等の都合で直ちに迎えにこられない場合などにおいて子供を預かる事業は、子育てと仕事の両立を支援する上で有益である。今後、入所児童の安全性に十分配慮する中で、事業の実施に向けて検討したい。

### 一般質問項目

#### 1 第4次高松市 行財政改革計画について

- (1) 財政状況の公表に向けた取り組み、地方財政健全化法に示されている四つの財政指標への対応
- (2) 未利用資産の売却・活用の取り組み
  - ① 調査検討対象物件の数・簿価、売却見込み額
  - ② キャッシュフローの視点も含んだ資産活用
- (3) 指定管理者制度の導入
  - ① 平成18年度導入事業の状況と課題
  - ② インセンティブを盛り込んだ契約

#### 2 生活保護費用増大への 対応について

- (1) 就労あっせんの実施状況と今後の計画
- (2) 自立支援プログラムの実施状況と課題
- (3) 新たな人材バンク創設
- (4) 保育所に病気の子供を預かってもらえる事業の創設

#### 3 中心部小中学校統合後の 学校跡地・跡施設利用 について

\*全文は、高松市議会のホームページで見ることができます。  
http://discuss.city.takamatsu.kagawa.jp/disc/

# 増え続ける

# 生

# 活

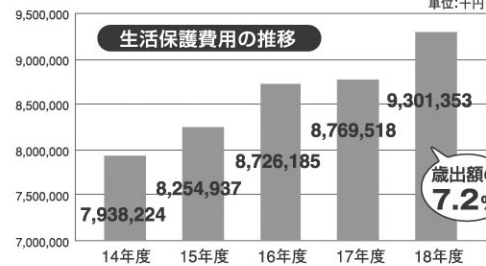
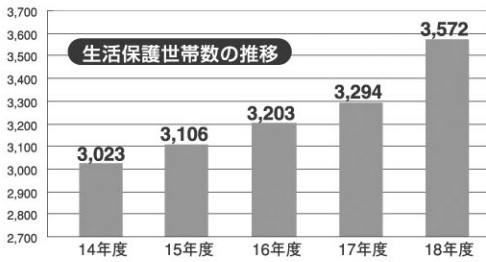
# 保

# 護

高松市で一年間に「生活保護」のために必要な金額は約93億円。これは全体の金額の7.2%を占めており、年々増えているのです。

2日間で5名から相談が

「生活保護を受けたいのですが」と相談が続いたこともあり、役所の二階にある保護課のフロアを訪ねて、色々と制度の説明を聞いていました。広いスペースに大勢の職員がいることを眺めている



「今や93億円のお金をお預りしていますから...」それも毎年増えているのですよ」と説明がありました。

93億円といえば、市の一般会計の約7.2%を占める費用で、これが多いと感じるのか、まだまだ少ないと感じるのか、人それぞれなのかもしれません...

驚くことについて詳しく知りたくなる性分ですから、早速データ収集を開始しました。

日本中が同じ問題を抱える

1994年以降、生活保護世帯数、保護率ともに上昇に転じており、これが、近年注目されるところ

となつています。景気の低迷、雇用構造の変化(流動化)、所得水準の伸び悩みなどが複合的に作用していると考えられますが、今後、本格的な高齢化社会の到来、少子高齢化の社会環境の到来により、生活保護世帯の増加や生活保護をまか

なうための財政負担の上昇が懸念されています。

4年で549世帯増

高松市においても、合併による増加もありますが、平成14年度の被保護世帯数3041世帯、被保護人員4955人から、平成18年度の3599世帯、被保護人員5428人へと増加しているのです。

高齢者世帯の増加が半数

この増加要因を世帯類型別にみると、「高齢者世帯の増加」がその約半数を占めており、高齢化の波が押し寄せていることを物語っています。その他、増加要因の多い順に、「障害世帯の増加」、「その他(収入不足や父子家庭)世帯の増加」があげられています。更に、保護の開始理由からみると主な増加要因として、「年金仕送り等不労収入の減少・喪失」があげられており、先述の社会背景を反映していることが明確となっています。

増大する生活保護費用

支給申請の抑制 水際作戦の強化

中長期の視点での戦略が必要!

高齢者の対象者増大

障害者・傷病者の多様な雇用ニーズに応える

働ける母子家庭への支援

シルバー人材センターの機能の拡充

もちろん正規雇用を増加

放課後・子供プランの充実

ファミリー・サポート・センター事業などの充実

新たな人材バンクの創設

働きやすい環境の整備  
看護師の派遣制度

批判は誰にでもできます!

春田は、本来の主旨から「水際作戦」と評されるような近視眼的な対応だけではなく、市民の生活・暮らしに関わる大切な事項であることから、中長期の戦略ビジョンを示し、具体的な対策を講じることが重要であると考えております。

大事なのはどう守るのか!

今回の質問でも、一般企業での正規雇用には隔たりが大きい、傷病

者や障害者が社会の中ではたらくための「新たな人材バンク事業の創設」と「保育所に看護師を派遣する事業の創設」について提案をしました。

1ページにも記載した、市長から前向きな回答のあった「看護師の派遣」は、なんと8月25日に、(国)厚生労働省が2008年度から人件費の半額を補助する事業を開始する方針を発表しました。

最大の追い風が吹きました。実施に向けてアクセルを踏み込んでいきます。ご期待ください!

## 視察レポート

### 高松競輪を視察

今年で55周年をむかえ、平成16年度までの累積売上は6760億円、高松市一般会計へ395億円もの金額を補填するなど、大きく貢献をしてきました。平成18年度で151億6200万円もの売上を上げ、227人の雇用を支える、地域にとつては貴重な産業です。

しかし、レジャーが多様化するなど、大きな転換期を迎えています。これからの街づくりの観点からも、貴重な空間だと考え、是非、視ておきたいと思ひ視

察に。

他のスポーツやイベントも開かれる複合化施設にできないかという、テーマを持って臨みましたが、もう少し勉強が必要です。



## イベントレポート

### ハートフルなコンサート

8月23日、高松市が文化芸術の振興のため行っているデリバリーツ事業として「月琴演奏会」が開催されました。先輩の森谷芳子さん（香川ハートフルネットワーク代表）が、協力団体として運営を担うということで、役員としてお手伝いしました。中国の楽器である月琴を、玉藻城の披雲閣で奏でるといっ

ついで、160名を超える人に囲まれた演奏会でした。月琴の音色と旋律が笙の音色に包まれて和太鼓のリズムに押し出されて、溢れていました。



### 基参者のために駐車場解放

太田下町のRさんがご近所の方から「栗林トンネルから婆ヶ池墓地へ抜ける道が、雨が降ると滑りやすいので舗装できないか？」との要望を受け早速現地調査に。するとそこは、きちんと整備されたハイキングコース。ましてや、駐車禁止

区域。「ダメです」と答えるのは簡単ですが、問題の本質は近くに駐車場がないこと。担当課3つを渡り歩き、精一杯できることとして市民病院（決して近くではありませんが）と折衝し、実現できました。

### 市営団地の住替えをルール化

党員のTさんが、4階に住む友人のMさんが大病を患い、昇り降りが困難であるため、1階に転居できないかと相談。4年以上も待たないといけない現状を追求し、医師の診断を求めると、新たなルールを追加することで、住み替えを可能としました。

## 活動実績

皆さんからの要望が形になりました。



### 仏生山町 カーブミラー設置

幼稚園の送迎で、この道をよく利用する若いお母さんから「左側から来る車が見えないので怖い」との声を聞きカーブミラーを増設しました。



### 仏生山町 カーブミラー新設

党員のOさんが地域からの要望を紹介してくださり、新築の家が増え通行量が増え危なくなってきた緩やかなカーブに、ミラーを設置しました。



### 多肥上町 転落防止標識設置

「水路との境目が分からず、夜になればよく落ち込む」との声を受け、転落防止標識（通称、目玉）を付近3ヶ所で設置しました。



## 活動日誌

2007年5月～8月

日	内 容
5月2日	初出庁 新人議員研修参加
3日	フラワーフェスティバル来賓参加
6日	街頭遊説 瓦町駅前
7日	経営無料相談 勤務
9日	新人議員研修「高松市予算について」参加
13日	高松城(玉藻城)天守閣跡地の視察
16日	臨時議会 出席
18日	中国工芸美術大使の表敬訪問を受ける
19日	公明党 新人議員研修会参加
24日	高松市新人議員視察(サンポート高松など)
6月5日	香川一中学校 耐震補強工事の視察
7日	全員協議会参加「濁水対策について」
12日	御殿浄水場 給水基地設置状況の視察
15日	香川地方自治政策研究会に参加
22日	わはは広場 訪問
26日	山本ひろし 励ます会総会
27日	全員協議会「高松新総合計画」参加
29日	市議会の開会 初の一般質問
7月9日	石井るり子先生音楽活動60歳を祝う会参加
10日	高松城跡特別委員会出席
11日	建設・水道常任委員会「給食センター」出席
19日	新塩屋小学校、跡地利用ワークショップ視察
29日	地域で育てる子育てサポートフォーラム参加
8月2日	経営無料相談 勤務
8日	高松・まちづくりふれあいトーク(太田)参加
9日	建設・水道常任委員会「市営住宅」出席
13日	高松祭り 市議連で総踊り
19日	高松市震災対策総合訓練に参加
22日	ハートフルネットワーク「月琴コンサート」
29日	高松競輪 視察

●市民相談件数 82件 ●相談累計 82件

★日々の活動は「春田のブログ」  
<http://haruta.ptu.jp/blog> をご覧ください。

## 会計報告

### 政務調査費

2007年5月～8月

費 目	金 額
1 研究研修費	47,839
2 調査旅費	0
3 資料作成費	0
4 資料購入費	44,543
5 広報費	52,683
6 広聴費	0
7 人件費	0
8 事務所費	57,025
9 その他	0
合 計	202,090円

高松市では、議員ひとり1ヶ月100,000円の政務調査費が予算化されており、年2回に分けて前払いされます。期末に議会事務局へ領収書(控え)を添付した報告書の提出により、額が決定され清算されます。

※春田は議員活動費、政務調査費の領収書は全て公開いたします。

## INFORMATION

応援している市民活動やおすすめイベントをご紹介します。

### 行政サービス たかまつファミリー・サポート・システム

たかまつファミリー・サポート・システムは、子育ての援助をしてほしい「おねがい会員」と、子育ての援助をしたい「まかせて会員」をつなげるための組織です。(ご利用いただくためには、会員登録が必要になります。)



●お問合せは  
**たかまつファミリー・サポート・センター**  
 〒760-0020 香川県高松市錦町1-20-11  
 高松市男女共同参画センター内  
 TEL 087-811-2225 FAX 087-811-2226

### 講演会 「乳がんなんてこわくない」県民公開講座

講演「千の風に包まれて」 俵 萌子氏

- 日 時…平成19年10月8日(月)13時～17時
- 場 所…サンポートホール高松(大ホール)
- 主 催…ピンクリボンかがわ県協議会  
健康新聞
- お問合せ…TEL 087-833-1145



### 春田敬司・市政報告会 の お知らせ

定期開催ができるまで、3名以上集まれば、出張・市政報告会を開催いたします。お気軽にお声をおかけください。

- 法律無料相談:公明党香川県本部  
毎月第1・第4水曜日(要予約)  
TEL 087-815-2206)
- 春田敬司の経営無料相談(中小企業・ベンチャー総合支援センター窓口相談日)  
10月2日(火)、11月6日(火)(要予約)  
TEL 087-811-1752

## 春一番!

編集後記

「春風の便り」をやっと創刊しました。この通信をつくるために「香川地方自治政策研究会」に参加し、「議員通信はこう作る!こう生かす!」というテーマの勉強をさせていただきました。「びんびん盗んで!」のお墨付きもいただきましたので、市民のためになることなら「良いと思うもの」はびんびん真似していきたいと思います。今回は時間がなく一人で作りましたが、「春風の便り」の編集委員や市民への配布にご協力いただけるボランティアを大歓迎いたしております。記事へのリクエストだけでも結構ですよ、お声をかけてください。「政治と金にまつわる不信」の広がりや、市民・国民と議員との意識に大きな隔たり(鈍感力)が横行するなか、「ひとりの人を大切に」との志を忘れることなく、現場主義で闘って参ります。



春田敬司 はるたけいし

昭和42年2月23日、兵庫県神戸市生まれ。国立高松工業高等専門学校機械工学科卒。(有)ジャストブレイン代表取締役(経営コンサルタント)。平成19年4月高松市議会議員初当選。座右の銘は「為せば成る」。



NEW KOMIETO  
公明党

「春風の便り」 創刊第1号

- 発行者:高松市議会議員 春田敬司
- 発行日:2007年10月(年4回発行予定)
- 連絡先:〒761-8013 高松市香西東町14番地8  
TEL087-842-5730